

「第1回新型コロナウイルスによる価値観の変化に関するアンケート」総括文

第1回新型コロナウイルスによる価値観の変化に関するアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

皆さまからは、さまざまなご意見をいただくことができました。

アンケート結果では、コロナ禍の前と今で、幸せと感じる物事や環境に「変化があった」と答えた方は64%、「変化はない」と答えた方は36%でした。「変化があった」と答えた方のうち、今幸せと感じる物事や環境のなかで、特に重要性の高いと答えた方が最も多かったのは「家族・親族」で57%、次いで「人づきあい(人間関係)」と答えた方が25%、「趣味」と答えた方が12%でした。

また、コロナ禍以前の主な情報の取得手段については、「インターネット」と答えた方が44%と最も多く、次いで「テレビ」と答えた方が37%、新聞と答えた方が7%でした。コロナ禍の現在の主な情報の取得手段については、「インターネット」と答えた方が49%と最も多く、次いで「テレビ」と答えた方が29%、「SNS」と答えた方が12%でした。コロナ禍以前とコロナ禍の現在を比較すると、主な情報の取得手段としてSNSを利用する方が6%、インターネットを利用する方が5%増加したのに対して、テレビを利用する方が8%、新聞を利用する方が3%減少しました。

コロナ禍の前と今で、行政への関心に変化があったかという質問については、「関心が高まった」と答えた方が51%、「変化はない」と答えた方が46%、「関心がなくなった」と答えた方が3%でした。

価値観の変化に関する自由意見では、オンラインを活用して様々な属性の人と交流するようになった、地元で買い物をするようになった、健康維持を重視するようになった、家族との時間を意識するようになった等の意見がありました。

今回のアンケートでは、コロナ禍で主な情報の取得手段としてSNSを利用する方が増加していることが分かりました。

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、刻一刻と状況が変化しているなかで、寒川町からの情報を町民の皆さまへ即時にお届けできるツールが必要であると考え、寒川町LINE公式アカウントを開設しました。このアカウントでは、コロナ関連情報などを即時にお届けします、また、コロナ関連、ごみ、防災などに関する情報を簡単に検索することができます。今後も「持ち運べる役場」を目指して、便利なコンテンツを追加していきますので、ぜひご活用ください。

今後も町一丸となって新型コロナウイルス感染症の収束に向けた対策を進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。